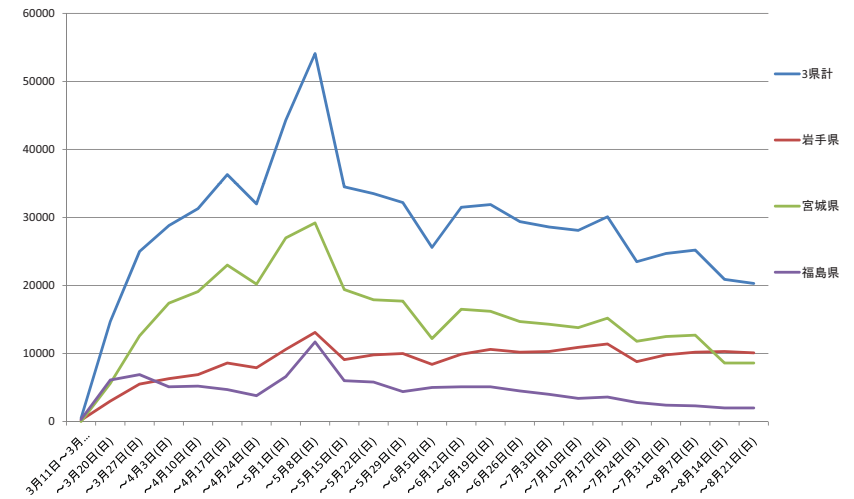


## 被災地での主な活動(田村)

- 避難所巡回によるニーズマッチング(つなプロ・スペサボ関西)
- 復興まちづくりへの提言WSサポート(@石巻・復興塾)
- 被災地キーパーソンの神戸視察のサポート(from石巻、釜石・復興塾)
- 被災地でのコミュニティビジネス起業支援(edge)
- 仮設住宅団地のアセスメント(いわて連携復興センター、みやぎ連携復興センター、ふくしま連携復興センター)
- 仮設住宅でのコミュニティ形成支援(石巻復興支援ネットワーク)
- 商店街応援プロジェクト(甲南女子大学など)
- 企業による支援と被災地のニーズとのマッチング支援

(参考)岩手県・宮城県・福島県の災害ボランティアセンターに登録し活動を行った人数



(注)  
 ・全国社会福祉協議会のとりまとめ(8月25日現在)より作成。  
 ・各地の災害ボランティアセンターに登録し、活動したボランティアの数をまとめたものであり、災害ボランティアセンターに登録せずにNPO・NGOや各種団体経由で直接活動を行うボランティアの数は含んでいない。

資料:石巻市における仮設住宅周辺環境調査(2011年7月)より

### 食生活を送るための宅配・配送サービスが必要な地域が存在

- 5割以上の仮設住宅団地では、徒歩で買物に行く場所にはない
- 公共交通を使っても行く事ができず、宅配サービスも受けられない仮設住宅団地も存在しており、緊急の対応が求められる

石巻市・仮設住宅団地における生活機能1/2

	徒歩で5分以内に行くことが可能	徒歩で15分以内に行くことが可能	公共交通を使って行くことができる	公共交通を使っても行く事ができない	宅配サービスあり
買物(生鮮食料品)	13	38	38	2	9
買物(日用品)	17	32	40	2	9
買物(衣料)	15	23	43	9	9
食堂・レストラン	23	25	32	11	9
理美容店	19	36	36	9	0

資料:石巻市における仮設住宅周辺環境調査(2011年7月)より

### 病院・市役所・学校へ公共交通を使っても行けない団地は約10%

- 公共交通を使っても行く事ができず、宅配サービスも受けられない仮設住宅団地が、病院・診療所で9%、金融機関13%、市役所・役場8%、小学校13%、中学校11%存在

石巻市・仮設住宅団地における生活機能2/2

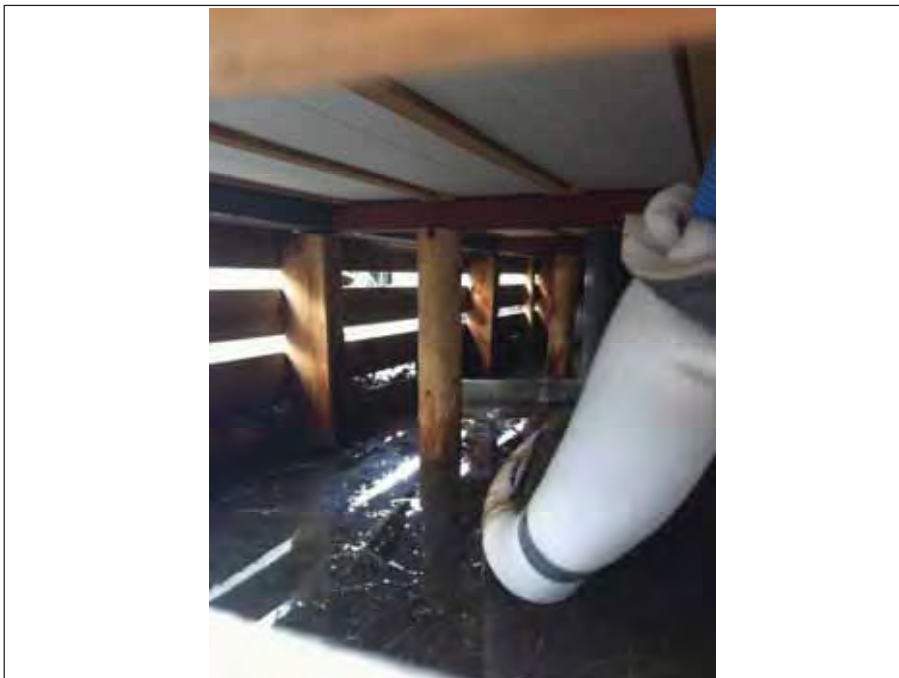
	徒歩で5分以内に行くことが可能	徒歩で15分以内に行くことが可能	公共交通を使って行くことができる	公共交通を使っても行く事ができない	宅配サービスあり
病院・診療所	21	30	34	9	6
金融機関	11	28	47	13	0
市役所・役場	4	32	51	8	6
小学校	11	40	36	13	0
中学校	11	30	45	11	2

## 集会所の設置は75%

- 集会所が設置されていない団地が25%存在しており、対応が必要
- 屋外交流スペース・花壇/植栽が設置されていない団地は4割程度
- 6割の団地では、付近公民館が利用困難が設置されていない

石巻市・仮設住宅団地におけるコミュニティ機能

	利用ルール が明確。誰で も使用可	整頓され、 利用できる 状況が整う	設置されてい るが、状態悪 く利用困難	設置され ていない
集会場	15	59	2	25
広場等屋外交流スペース	15	42	6	38
花壇・植栽など	6	55	0	40
ごみステーション	26	57	0	15
指定避難所	26	42	15	17
付近公民館	21	19	19	40





9



10



11



12



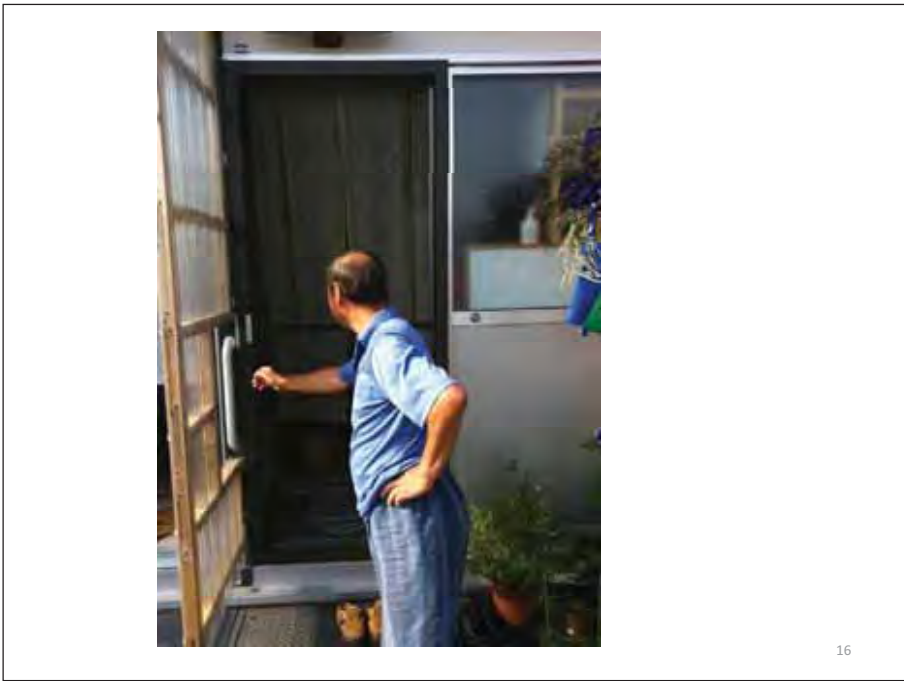
13



14



15



16



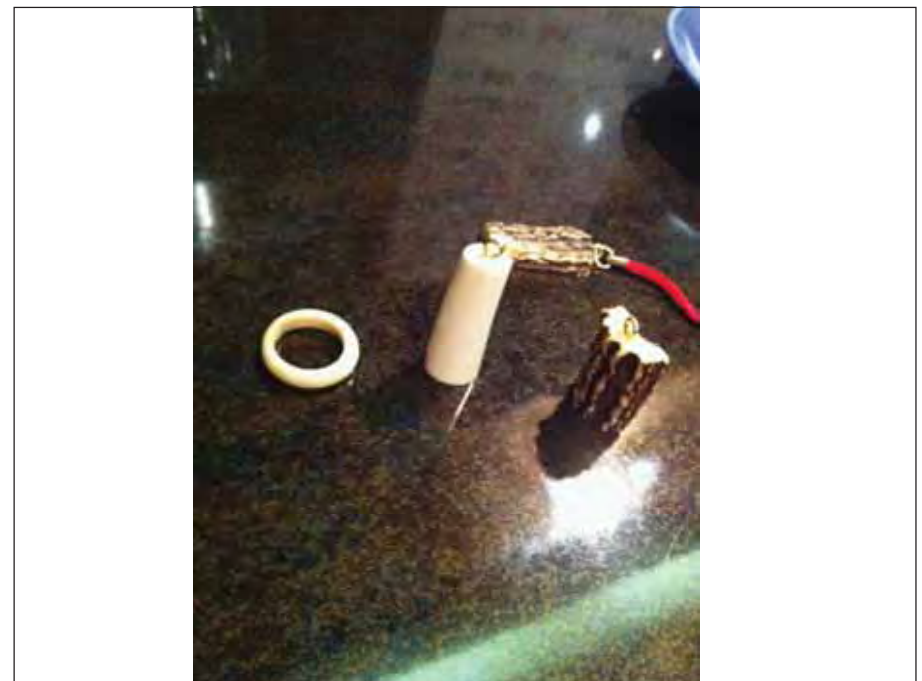
内装会社の社会貢献として「消熱塗装」の実験を実施 (@あすと長町)





## 被災地でのコミュニティビジネス起業支援 (edge)

- 仮設住宅での移動支援と配食サービスの提供(石巻)
- 牡鹿半島の鹿を活かしたしごとづくり(石巻・雄勝)
- 高校生によるカフェ事業を通じた子どものたまり場支援(石巻)
- 「島民講師」(語り部)の育成による観光活性化事業(気仙沼・大島)
- 仮設住宅の集会所を利用した子育て支援とお母さんの就労支援(石巻)









## 今後の支援に向けて

- 担い手の変化
  - 外部の支援団体から地元のNPOへ
- 県域での中間支援組織の立ち上がり
  - いわて、みやぎ、ふくしまの「連携復興センター」
- 復興の全体的な流れを知りたい
  - 神戸との交流を継続的・体系的に展開したい